

浴室

入浴は、高齢者にとって身体的負担が大きく、さらに危険を招くことが多いので、入浴方法や介助方法など十分に検討し、安全を第一により安心して入浴ができるよう細部にわたる配慮が必要です。

リフォーム指針

- 姿勢や介助者の有無を考え、洗い場の広さを確認する。
- 浴槽の縁に腰かけられるようにする。
- 必要に応じて、水平・垂直手すりを設置する。
- 脱衣室と浴室の段差を解消する。
しない場合は、出入り口近くに垂直手すりを設置する。
- 水栓金具は、操作しやすいものとし、温度調節の分かりやすいものとする。
- 具合が悪くなった場合、通報できるよう非常ブザーを設ける。



★改造のアドバイス

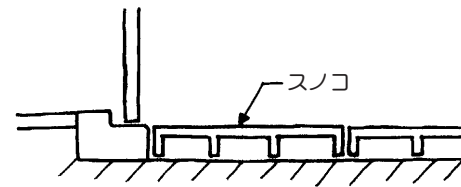
スノコは、清掃しやすいように小分割して取り放しできるタイプとする。



▲腰掛け部分を設置



▲スノコにて段差解消



★改造のアドバイス

固定度が確保されているか、常に点検すること。



◀ 浴槽の縁に手摺を固定して使用する



◀ 浴室の出入り口扉の前後に垂直手摺設置

★改造のアドバイス

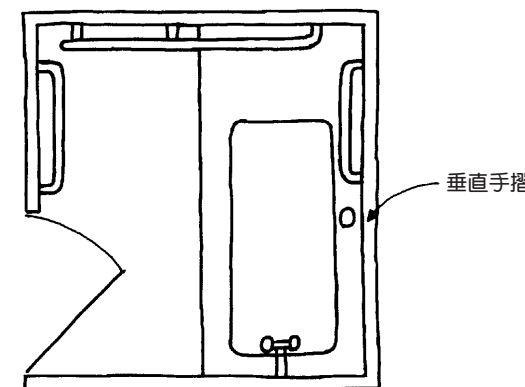
浴室の床はぬれているのですべりやすい。出入りに使用できる手摺があれば安心です。



▶ 浴槽部分に垂直・水平手摺を設置



▲ 浴槽に連続して手摺を設置



垂直手摺